

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	Super Glue
コンポーネント名	
商品コード	HPT社 商品コード:HR4-316
供給者の会社名称	フナコシ株式会社
住所	東京都文京区本郷2-9-7
担当部門	コンプライアンス管理部
電話番号	03-5684-5107
FAX番号	03-5802-5218
推奨用途及び使用上の制限	研究用試薬
整理番号	OTH0244V02 (2024/4/1)

2. 危険有害性の要約(以下、SDSは単一物質としての評価に基づき作成)

化学品のGHS分類	
物理化学的危険性	引火性液体 区分4
健康有害性	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(気道刺激性) 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素
絵表示

注意喚起語	警告
危険有害性情報	H227 引火性液体 H319 強い眼刺激 H335 呼吸器への刺激のおそれ

注意書き

安全対策	熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。 (P210) 粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。(P261) 取扱い後は眼や手をよく洗うこと。(P264)
------	--

応急措置	屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。(P271) 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280) 吸入した場合、気分が悪いときは医師に連絡すること。(P304+P312) 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340) 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 (P305+P351+P338)
------	---

保管	眼の刺激が続く場合、医師の診察、手当てを受けること。(P337+P313) 火災の場合、消火するために適切な消火剤を使用すること。(P370+P378) 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。(P403+P233) 施錠して保管すること。(P405)
----	--

廃棄	内容物や容器を、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。(P501)
----	---

他の危険有害性
重要な徴候及び想定される非常
事態の概要

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	2-シアノアクリル酸エチル<2-シアノ-2-プロペン酸エチル>
CAS番号	7085-85-0
濃度又は濃度範囲	60%超

化学式	C6H7NO2
化審法官報公示番号	(2)-2789
安衛法官報公示番号	
分類に寄与する不純物及び安定化添加物	データなし

以下、該当する単一成分のSDSを記載する。

4. 応急措置	
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	水と石鹸で洗うこと。 皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	皮膚：発赤、痛み。眼：発赤、痛み。眼、皮膚を重度に刺激する。
応急措置をする者の保護	データなし
医師に対する特別な注意事項	データなし
5. 火災時の措置	
適切な消火剤	泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類。
使ってはならない消火剤	棒状注水、水噴霧。
特有の危険有害性	火災によって刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。 熱、火花及び火炎で発火するおそれがある。 激しく加熱すると燃焼する。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 容器が熱に晒されているときは、移動させない。 安全に対処できるならば着火源を除去すること。
消火を行う者の保護	適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 低地から離れ、風上に留まる。 立ち入る前に、密閉された場所を換気する。
環境に対する注意事項	環境中に放出してはならない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	漏れた液やこぼれた液を、密閉式の容器にできる限り集める。
二次災害の防止策	危険でなければ漏れを止める。 全ての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱注意事項	炎や高温のものから遠ざけること。禁煙。 ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 眼や皮膚との接触を避けること。
接触回避	「10. 安定性及び反応性」を参照。
衛生対策	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく眼と手を洗うこと。

保管

安全な保管条件

保管場所には危険物を貯蔵し、又は取扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、かつ、屋根とはりを不燃材料で作成し、床は、危険物や水が浸透しない構造とする。

熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。禁煙。

熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。禁煙。

容器を密閉して換気の良い冷乾所で保存すること。

施錠して保管すること。

安全な容器包装材料

消防法で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

未設定

許容濃度(産衛学会)

未設定

許容濃度(ACGIH)

TWA 0.2ppm, STEL -

設備対策

取り扱いの場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。

作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。

保護具

呼吸用保護具

適切な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具

適切な保護手袋を着用すること。

眼、顔面の保護具

適切な保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣、保護面を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

液体

色

無色透明

臭い

強酸臭

融点/凝固点

-29.6℃

沸点又は初留点及び沸騰範囲

54~56℃

可燃性

データなし

爆発下限界及び上限界/可燃限界

1.7%vol.~(空気中)

引火点

75℃(密閉式)

自然発火点

485℃

分解温度

データなし

pH

データなし

動粘性率

データなし

溶解度

水:3210mg/L(25℃)(推定値)メチルエチルケトン、トルエン、アセトン、DMF、ニロトメタンに可溶。

n-オクタノール/水分分配係数(log値)

log Pow = 1.42(推定値)

蒸気圧

< 0.27kPa(25℃)

密度及び/又は相対密度

1.040(20℃)

相対ガス密度

4.3(空気 = 1)

粒子特性

データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

データなし

化学的安定性

法規制に従った保管及び取扱いにおいては安定と考えられる。

危険有害反応可能性

急速に重合する加熱や燃焼により分解し、有毒で刺激性のヒュームやガス(窒素酸化物、シアン化物など)を生じる。

避けるべき条件

加熱や燃焼

混触危険物質

データなし

使用、保管、加熱の結果生じる

有毒で刺激性のヒュームやガス(窒素酸化物、シアン化物)。

危険有害な分解生成物

その他

11. 有害性情報

急性毒性 経口	ラットへの5,000mg/kg投与で、1/6例の死亡との報告(CICAD36(2001))からLD50 = >5,000mg/kgと推定されること、ラットのLD50 = 5,000mg/kgとの報告(HSDB Acc.August(2015))とに基づき、区分外とした。
経皮	ウサギへの2,000mg/kgの投与で死亡例なしとの報告(CICAD36(2001))に基づき、区分外とした。なお、ウサギのLD50 = 2,000mg/kg(HSDB Acc.August(2015))との報告があり、区分4に該当するが、分類ガイダンスに従い、優先度の高い情報源(CICAD36(2001))のデータを採用した。
吸入(ミスト)	データ不足のため分類できない。ラットの(1時間)LC50 = <21.11mg/L(4時間換算値:<5.278mg/L)との報告(ACGIH 7th(2001))があるが、この値のみでは区分を特定できない。なお、LC50値が飽和蒸気圧濃度(13.7mg/L)より高いため、ミストの基準値を適用した。
皮膚腐食性/刺激性	ウサギの皮膚刺激性試験において、本物質の液体を24時間適用した結果軽度の紅斑及び浮腫(平均スコア0.83)がみられたとの報告がある(CICAD36(2001))。また、ヒトにおいて単回ばく露による皮膚刺激性はみられないとの記載がある(CICAD36(2001))。なお、本物質は皮膚に対して重度の刺激性を有するとの記載がある(ACGIH 7th(2001))、ばく露時間等の詳細が不明な情報であるため区分に用いるには不十分なデータと判断した。以上より区分外とした。なお、本物質はEUCLP分類においてSkin.Irrit.2H315Iに分類されている(ECHACL Inventory Acc.September(2015))。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	ウサギの眼刺激性試験において、本物質を適用した結果、刺激性の平均スコアが発赤1.75、結膜浮腫0.5、角膜混濁0.75、虹彩反応0.5であり、症状は7日以内に全て回復したとの報告がある(CICAD36(2001))。また、本物質は眼に対して重度の刺激性を有するとの記載がある(ACGIH 7th(2001))、回復性などの詳細は不明である。以上の結果から、区分2とした。本物質はEUCLP分類においてEye.Irrit.2H319Iに分類されている(ECHACL Inventory Acc.September(2015))。
呼吸器感作性	本物質を取扱う職業ばく露において、喘息症状が報告されている(ACGIH 7th(2001)、CICAD36(2001)、DFGOT vol.13(1999))、いずれの評価書も複合ばく露の可能性があることから、本物質によるものであるとは結論していない。また、CICAD36(2001)は、喘息がアレルギー性あるいは刺激性のどちらの機序によって誘発されるかについて結論できないとしている(CICAD36(2001))。以上より、分類できないとした。
皮膚感作性	本物質を取扱う職業ばく露において皮膚反応を示した労働者に対するパッチテストにおいて、陽性反応が報告されている(ACGIH(2001)、CICAD36(2001)、DFGOT vol.13(1999))、いずれの評価書も感作性の結論に足る情報ではないとし、本物質を感作性物質としていない(ACGIH(2001)、CICAD36(2001)、DFGOT vol.13(1999))。以上より、分類できないとした。
生殖細胞変異原性	ガイダンスの改訂により区分外が選択できなくなったため、分類できないとした。in vivoでは、ラット及びマウスの骨髄細胞を用いた小核試験で陰性(NTPDB Acc.September(2015))、in vitroでは、細菌の復帰突然変異試験で陰性である(CICAD36(2001)、ACGIH 7th(2001)、DFGOT vol.1(1990)、NTPDB Acc.September(2015))。
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	本物質は気道刺激性がある(ACGIH 7th(2001)、CICAD36(2001)、DFGOT vol.1(1990))。その他、ヒト及び実験動物のデータはない。以上より、区分3(気道刺激性)とした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データなし
誤えん有害性	データなし

12. 環境影響情報

水生環境有害性	短期(急性)	データなし
水生環境有害性	長期(慢性)	データなし
生態毒性		データなし
残留性・分解性		データなし
生体蓄積性		データなし

土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	本品を廃棄する際には、国、都道府県並びにその地方の法規、条例に従うこと。廃棄処理中に危険が及ばないように十分注意すること。関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
汚染容器及び包装	

14. 輸送上の注意

国際規制	
海上規制情報	該当しない。
UN No.	
Proper Shipping Name	
Class	
Sub Risk	
Packing Group	
Marine Pollutant	Not Applicable
Transport in bulk according to MARPOL 73/78, Annex II, and the IBC code.	Not Applicable
航空規制情報	該当しない。
UN No.	
Proper Shipping Name	
Class	
Sub Risk	
Packing Group	
国内規制	
陸上規制情報	該当しない。
海上規制情報	該当しない。
国連番号	
品名	
国連分類	
副次危険	
容器等級	
海洋汚染物質	非該当
MARPOL 73/78 附属書II 及び IBCコードによるばら積み輸送される液体物質	非該当
航空規制情報	該当しない。
国連番号	
品名	
国連分類	
副次危険	
等級	
特別の安全対策	
緊急時応急措置指針番号	なし

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法	劇物・除外品目(指定令第2条)【32の38 有機シアン化合物/シアノアクリル酸エステル及びこれを含有する製剤】 2-シアノアクリル酸エチル<2-シアノー-2-プロペン酸エチル>含製剤
労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第1号~第2号別表第9)【第205号 2-シアノアクリル酸 2-シアノアクリル酸エチル<2-シアノー-2-プロペン酸エチル>含有する製剤その他の物。ただし、含有量が0.1重量%未満のものを除く。(施行令第18条の2第2号、安衛則第34条の2別表第2)

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号～第2号別表第9)【第205号 2-シアノアクリル酸エチル】

2-シアノアクリル酸エチル<2-シアノ-2-プロペン酸エチル>

含有する製剤その他の物。ただし、含有量が1重量%未満のものを除く。また、運搬中及び貯蔵中において固体以外の状態にならず、かつ、粉状にならない物(次の各号のいずれかに該当するものを除く。)を除く。1号 令別表第1に掲げる危険物 2号 危険物以外の可燃性の物等爆発又は火災の原因となるおそれのある物 3号 酸化カルシウム、水酸化ナトリウム等を含有する製剤その他の物であつて皮膚に対して腐食の危険を生ずるもの(施行令第18条第2号、安衛則第30条別表第2)

消防法

第4類引火性液体、第三石油類非水溶性液体(法第2条第7項危険物別表第1)【5 第三石油類非水溶性液体】

1気圧において、20℃で液状であつて、危険物令第1条の6で定める試験において引火性を示し、引火点が70℃以上200℃未満のもの(法別表第1備考15)。ただし可燃性液体量が40%以下のものを除く(危険物則第1条の3第6項)。

水質汚濁防止法

有害物質(法第2条、施行令第2条、排水基準を定める省令第1条)

【注】規制の概要参照【2 シアン化合物】

下水道法

水質基準物質(法第12条の2第2項、施行令第9条の4) 【注】規制の概要参照【2 シアン化合物】

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

特別管理産業廃棄物(法第2条第5項、施行令第2条の4) 【注】規制の概要参照【5 シアン化合物を含有する特定有害産業廃棄物】

1mg/L(シアン)以上含有する廃油、廃酸、廃アルカリ及び処理物、1mg/L(シアン)以上溶出する汚泥及び処理物

土壌汚染対策法

特定有害物質(法第2条第1項、施行令第1条) 【注】規制の概要参照【5 シアン化合物】

16. その他の情報

参考文献

経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス
日本ケミカルデータベース ezCRIC+
安全衛生情報センター GHS対応モデルSDS
国際化学物質安全性カード(ICSC)日本語版
化学物質総合情報提供システム(CHRIP)

その他

- ◆危険・有害性の評価は必ずしも十分でないので、取扱いには十分注意して下さい。
- ◆本データシートは情報を提供するもので、記載内容を保証するものではありません。
- ◆表記の試験研究用試薬以外に本データシートを適用しないで下さい。
- ◆輸送中、保管中、廃棄後も含めて、内容物や容器が、製品知識を有しない者の手に触れぬよう、厳重に注意して下さい。